

初期導入ガイド 1

配線・ログイン編

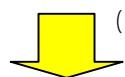
本書やリファレンスガイドをよくお読みの上、正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

本書では、配線から設定画面へアクセスするまでの簡易手順を説明しています。詳細については「リファレンスガイド」をご参照ください。

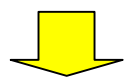
主な作業手順は次のとおりです。

STEP 1 HDDの取り付け

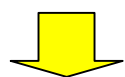
(2U/3Uモデルのみ)



STEP 2 配線と電源投入



STEP 3 設定用PCの準備



STEP 4 設定画面にログイン

作業準備

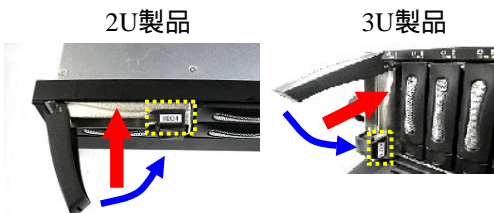
本製品の設定をするためのコンピュータを1台ご用意ください。設定用コンピュータのOSはWindows 2000/XP/Vistaを推奨します。

また、使用するブラウザはInternet Explorer 6.0以降を推奨します。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Javaは、米国 Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。

STEP1 HDDの取り付け

2U/3Uの製品では、HDDユニットが別梱包になっていますので、配線を行う前にHDDユニットを取り付けます



HDDスロット番号と取り付けるスロット位置を確認してください。HDDユニットを奥まで差し込んでください。HDDトレイレバーを閉じて、カチッと音がするまで、押してください。

HDDスロット番号

3U	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
2U	4	3	2	1	8	7	6	5	12*	11*	10*	9*				

*9~12番スロットは、12ベイ製品のみ

STEP2 配線と電源投入

管理画面にアクセスするための最低限の配線方法を説明しています。詳細については「リファレンスガイド」をご参照ください。

1 LANケーブルと電源ケーブルを接続する



付属のLANケーブルをLAN0とR-Linkにそれぞれ接続します。

SN-2803H-PDCはLAN1にも接続します。

LAN1 (SN-2803H-PDCの場合はLAN2)も使用する場合は、別途LANケーブルをご用意ください。機種によってLANポートの位置が異なります。



上の写真のように引っ張られた状態にならないよう、19インチラック内の配線の引き回しにご注意ください。

次に、付属の電源ケーブルを、すべての電源コネクタに接続します。



機種によって電源コネクタの位置が異なります。

ケーブルが排気を阻害してしまうことがあります。製品からの排気が損なわれると、内部の温度が上昇し、製品の寿命を縮めることとなりますので、結束バンド等でケーブルを整理し、製品からの排気を阻害しないよう、ご注意ください。

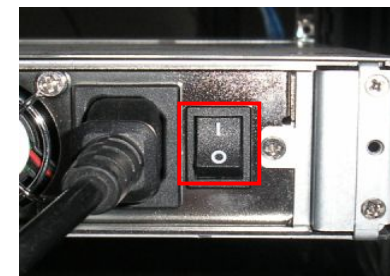
2 電源を投入する

SN-1403AH以外の機種の場合



枠内のボタンを押して電源を投入します。機種によって電源ボタンの位置が異なります。

SN-1403AHの場合

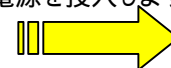


電源を投入する前に、あらかじめ電源ユニットの電源をONしておきます。「|」側がONで、「」側がOFFです。



枠内のボタンを押して電源を投入します。

裏面へつづく



表面からのつづき

STEP3 設定用PCの準備

設定画面にアクセスするためには、設定用コンピュータにJava Version 1.4.2以上をインストールしておく必要があります。

Javaの入手先は下記のとおりです。

Sun Microsystems社ダウンロードページ
<http://www.java.com/ja/>

Javaインストール手順についても、同WEBサイトをご参照ください。

次に、設定用コンピュータのIPアドレスを変更し、proNASの出荷時設定のネットワークに合わせます。

proNASの出荷時IPアドレスは次のとおりです。

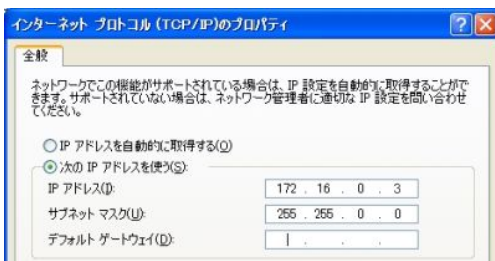
proNAS OS : 172.16.0.1
Raid Subsystem : 172.16.0.2
サブネットマスクはどちらも 255.255.0.0

したがって、設定用コンピュータも

IPアドレス : 172.168.0.x (xは任意の数値)
サブネット : 255.255.0.0

のように設定してください。

Windows XPのIPアドレス設定画面



STEP4 設定画面にログイン

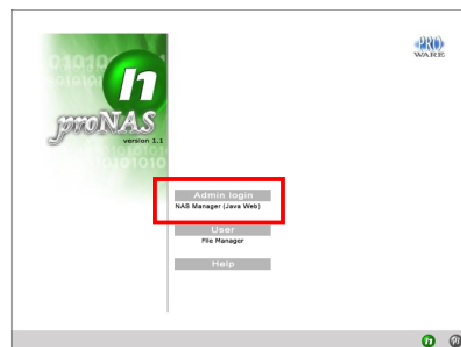
proNAS Managerへログイン

proNAS OSの諸設定はproNAS Managerで行います。設定方法については、「初期導入ガイド2 基本設定編」および「リファレンスガイド」をご参照ください。

1 ブラウザからアクセス

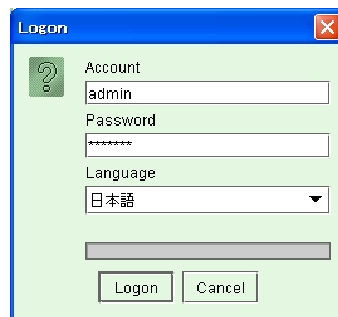
ブラウザを起動しURLを入力します。

[http:// 172.16.0.1/](http://172.16.0.1/)



上の画面が開いたら、「Administrator login」をクリックします。

2 パスワードを入力する

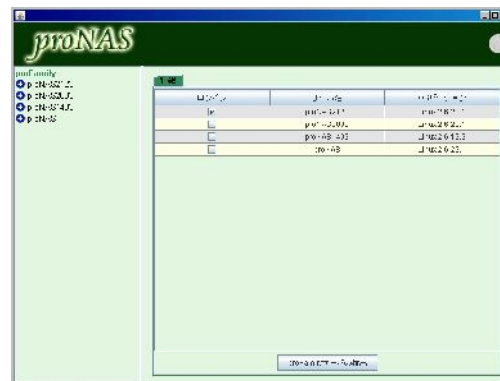


上の画面が開いたら、AccountとPasswordを入力してLogonをクリックしてください。

出荷時のパスワード

Account : admin
Password : proware

3 ログイン完了



ログインが完了すると、上のような「情報」画面が表示されます。

Raid Subsystemへログイン

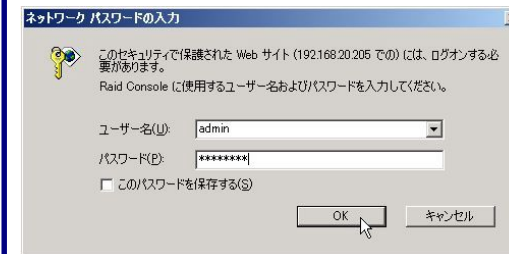
Raid SubsystemではRaid SetやVolume Setを作成し、管理されていますが、出荷時に既に作成されていますので、変更の必要がない場合はログインする必要はありません。設定変更する場合は、下記の手順でログインしてください。

1 ブラウザからアクセス

ブラウザを起動しURLを入力します。

[http:// 172.16.0.2/](http://172.16.0.2/)

2 パスワードを入力する

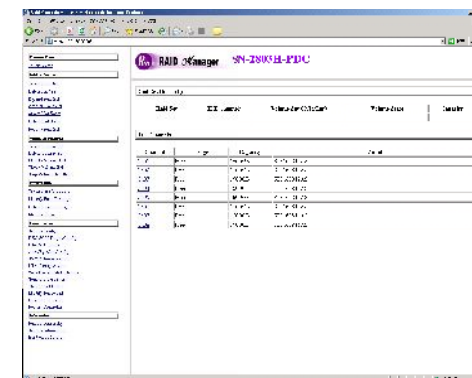


上の画面が開いたら、ユーザー名とパスワードを入力してOKをクリックしてください。

出荷時のパスワード

ユーザー名 : admin
パスワード : 00000000

3 ログイン完了



ログインが完了すると、トップページが表示されます。

プリンストンテクノロジー株式会社

2009/3/3 Ver. 1.03

Copyright©2008-2009

Princeton Technology, Ltd. All Rights Reserved.